

お誕生

住所	氏名	性別	保護者
白旗	高崎 葵	女	弘 行
豊内	稲葉 斗陽	男	龍 康
下横田	甲斐 颯馬	男	康 和
府領	野々口 真帆	女	和 宏
緑町	北里 空海	女	和 拓
下横田	和田 叶夢	男	拓 次

ご結婚

住所	氏名
夫	愛知県 岡田 五郎
妻	糸田 緒方三佑紀
夫	田口 山田 泰平
妻	船津 仲原 梨奈
夫	宇城市 林田 竜頼
妻	仁田子 村上沙也佳
夫	佐賀県 西村 孝志
妻	中山 西坂しのぶ

おくやみ

住所	氏名	年齢	世帯主
大町	池田 フキ	95	守
西寒野	藤田 君江	82	君 江
横田	小野 文夫	86	法 枝
上早川	本田 家富	84	富 明
田口	田崎 生雄	83	誠 也
府領	中野千恵子	81	正 人
緑町	牛島夫佐子	93	夫 佐
豊内	富永チヨ子	82	大 二

〔町史編さんだより〕

(前号からの続き)
糸田村の庄屋を世襲した家柄である緒方家の庄屋としての編さん段階で全て見ることはできませんが、興味を引く多くの史料の中で、今回は「差紙(さしがみ)」を簡単に紹介します。
差紙は、惣庄屋や庄屋を任命する辞令や、事務連絡などに使われる、いわゆる公文書です。
この緒方家文書の差紙は、時期の早さ、質・量とも他の庄屋文書と一線を画すほど群を抜いた存在です。2005年、熊本大学の文書調査によりその一端が公表されましたが、その内容を見ただけでも、惣庄屋を長とする手永機構が、どのように庄屋と連絡を取り合っ

糸田村の庄屋を世襲した緒方家の文書



ていたかを垣間見ることができるのです。
一般に、差紙は断片的には見ることもありますが、ここまでの庄屋倒される程の内容はあまりありません。この史料調査が子細にでき

たら、今まであまり解明されなかった藩庁から末端組織である村単位まで、どのように行政システムがなされてきたかが理解できると思います。それは、今の行政システムと根幹は同じも

甲佐の歴史を紡いで

～町史編さんだより(19)～

甲佐町の庄屋文書(後編)

町史編集委員 花岡 興史 (近世)

のなのかもしれないのです。また、他にも「古今集覧」という便覧も魅力的です。これは、村の歴史から位置づけなど詳細に書かれています。いわば「甲佐町史系田地区編」ともいえるものです。

文書調査では、地方にまだまだ歴史を解明する貴重な文書が多く残っていることが実感させられます。町史編さん事業の間だけでなく、多くの方々が緒方家文書をはじめとする甲佐町の史料のすばらしさをご理解いただけたらと思っております。

▼『甲佐町史』編さんに関するお問い合わせ先
町社会教育課町史編纂係
☎096・234・3310

編集後記

ひと雨ごとに春が近づくと、3月。今年は寒暖の差が激しく、春と冬を行ったり来たり。初日は小雪も舞うほどの寒さで、寂しい春の訪れとなりました。

ようやく春らしい陽気となった下旬、豊内の免の山には小さな桜の花がちらほら。下豊内区の皆さんが植樹された苗木が花を咲かせ始め、甲佐の春に新しい彩りを描き始めています。

その免の山の山頂には、発掘調査が進む陣ノ内館跡。新たな遺構も明らかになり始め、類を見ない規模の館跡の解明は、甲佐のみならず、熊本県の歴史にも一石を投じることでしよう。

春爛漫(らんまん)のこの時期、ちよっと免の山へ足を伸ばしてみませんか。山頂で見渡せる甲佐の町並みを一望しながら、今と昔を思いをはせて、心新たに、新しい季節をスタートしてはいかがでしょうか。(C)

DATA		
平成22年2月28日現在		
人口・世帯数	増減	
男	5,364	2
女	6,128	7
計	11,492	9
世帯数	4,156	14